

道路整備は柳井の重要な課題です！

質問(要旨)

柳井地域の発展のためには、道路ネットワークの充実・強化が喫緊の課題であると考えますが…

① 国道188号柳井・平生バイパスの早期完成

② 柳井玖珂間を結ぶ道路の高規格化

③ 県道柳井上関線伊保庄バイパスの段階的な開通

など、3路線の道路整備について、今後どのように取り組まれるのか、所見を伺う。

答弁(要旨)

① 早期完成に向け、引き続き整備促進を図るに強く訴えるとともに、関連道路の整備等に積極的に取り組む。

② 現時点では、十分な整備効果が確認できないことから、その整備のあり方を検討するとともに、現道の安全対策等を進める。

③ 残る3.2kmのうち、通学路の安全確保や救急活動の迅速化に繋がる北側の2km区間について、来年度中の供用を目指し、工事を精力的に進める。

国道188号線は、昭和49年に県の都市計画決定がなされて約半世紀。長年にわたる諸先輩方の要望活動が実り、遂に新規事業化が実現しました！



農業従事者の確保(若者は？ 女性は？)

質問(要旨)

柳井市には、夫婦で都会から移住し、後継者のいない農家の施設ノウハウを受け継ぎ初期費用を抑えて農業を始め

られた人もいるが、うまくマッチングが行われることは稀である。全国農業会議所の調査によれば、地域外からの新規就農時に、経営資源の確保で苦労した点のうち、「農地の確保」と「住宅の確保」については、個人では解決できない難しい問題だと捉えている。一方で、高齢を理由に離農を余儀なくされ、農地や経営資源を誰かに活用してほしいという生産者が増えている。担い手不足で困っている農村地域と、都会から移住して農業を始めたい子育て世代の夫婦をうまくマッチングさせることが、若者や女性など新たな農業従事者を増やし、具体的な成功例を伝えることで、本県での就農を検討する方が増えるのではないかと。

答弁(要旨)

新たに、コディネーターを配置し、支援体制を強化した上で、離農予定者の情報把握と、経営継承希望者へのサポートにより、円滑なマッチングを進める。離農予定者の掘り起こしを進め、個別訪問等により、譲渡可能な資産や条件などの情報を蓄積し、関係者で共有できる仕組みを構築する。継承希望者に対しては、離農予定者の情報提供に加え、両者の話し合いや対象農場での事前研修のサポートを行う

う他、就農セミナー等を活用し、先輩農業者が経営継承の体験を伝える取組を進める。就農後も安心して生活できるよう、ネットワークづくりを進めるとともに、農業士協会等と連携し、経営から子育てまできめ細かな支援を行い、「担い手支援日本一」の取組を強化する。

災害時、難病患者さんは特別な支援が必要です！

質問(要旨)

難病患者には、運動麻痺等で避難が難しい方や、在宅での人工呼吸の方等がおり、「自助」や「共助」による避難や介助には限界があり、特別な支援が必要だと感じている。

難病患者の避難行動支援は、県全域で対応が求められる喫緊の課題であり、県がリーダーシップをとって、市町とともに、患者や避難支援関係者、医療関係者等と連携した実効的な支援体制を構築すべきではないかと。

答弁(要旨)

保健所ごとに、市町及び医療・福祉関係者、患者会等で構成する「難病対策地域協議会」を設置し、避難支援体制の構築や災害時における継続的な在宅療養への支援に向けた取組を進める。

快適！ 便利！ 住みよい柳井市に

— こんな事業をやっています！ —

農林・水産

集落営農法人連合体の運営支援



集落営農法人の連携強化と経営の安定と、新規就農者確保に向けた体制強化のため、補助事業を活用して、集落営農法人連合体の施設・機械の整備を支援した。(写真：導入された大豆コンバイン)

国営緊急農地再編整備事業



耕作放棄地を含めた農地の再編整備(ほ場整備、ため池整備、暗渠排水)を行い、担い手への農地の利用集積を進め、生産性と収益性の向上を図る。

農林水産物の地産・地消の推進



柳井花卉生産組合と周東総合病院の連携による共同イベント「柳井の花」展示会～花農家からのフラワーパレンティン」の開催を支援し、農産物の地産・地消の理解促進を図った。

農業基盤整備促進事業



柳井市黒杭の長溝水路は、畑の池ため池から新庄地域へ通じる重要な農業用水路であるが、老朽化が著しいため、補修工事を行い、用水確保と用水管理の軽減を図る。

琴石グリーンパーク公園整備



森林づくり県民税関連事業、地域が育む豊かな森林づくり推進事業として行われ、枯損木の伐採や遊歩道の修繕など公園内の整備を支援し、眺望や景観の改善を図った。

光・熊毛地区栽培漁業センター視察



稚魚放流などの資源管理を体系的に取り組むことにより水産資源を増やし、漁業振興を図る。

土木・建築

県道柳井上関線 道路改良事業



現道の道路幅員が狭く見通しも悪いため、安全で円滑な通行に支障をきたしていることから、バイパスを整備する。

西本谷大川 砂防事業



渓流から発生する土石流や流木から人命を保護するため、砂防堰堤を整備する。

日積(31)地区 急傾斜地崩壊対策事業



急傾斜地の崩壊による災害から人命を保護するため、法枠工を整備する。

土穂石川 総合流域防災事業



洪水に対する安全度が低く、過去に幾度となく浸水被害が発生しており、治水安全度の向上を図るため、河川を改修する。

県道光柳井線 交通安全事業



交通量の多い本路線は、歩道の未整備区間があり、安全で円滑な通行に支障をきたしていることから、歩道等を整備する。

柳井港 海岸高潮対策事業



港湾施設背後の住民の生命・財産の防護を図るため、護岸改良(補強・嵩上)を行う。

まちこの県政報告

Vol.3 MACHIKO ARICHIKA PREFECTURAL ASSEMBLY REPORT 発行元/有近まちご事務所 発行日/2020年7月10日

コロナに打ち勝つ山口県・柳井市へ



新型コロナウイルスの影響で、これまで当たり前だったことが当たり前ではなくなり、人々の意識や行動は大きく変わりました。今後、県民や事業者の皆さんが安心して日常生活や経済活動を送れるように、全力で頑張っています！今回は、新型コロナ禍における、山口県の取り組みを紹介します。

Contents

●力を合わせて乗り越えましょう！

新型コロナ禍で伝えたいこと

●新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

令和2年度4月補正予算の概要

●新型コロナウイルス感染症、第2波・第3波に備えて

令和2年度6月補正予算の概要

●快適！ 便利！ 住みよい柳井市に

柳井市における令和2年度の県の事業



山口県議会議員・弁護士 有近 まちこ

経歴 平成25年 3月 広島大学法科大学院修了 平成27年12月 最高裁判所司法研修所卒業 弁護士登録、山口県弁護士会入会

力を合わせて乗り越えましょう！

山口県ではこの未曾有の危機に集中対応するため、新型コロナウイルス対策事業として68.6億円というかつてない大型の補正予算が組まれ、県議会は「一刻も早くお困りの方に支援が届くように」と4月に臨時会を開き、補正予算を成立させました。また、6月の定例会では、213.2億円もの補正予算が組まれました。(詳しくはP.2、P.3)

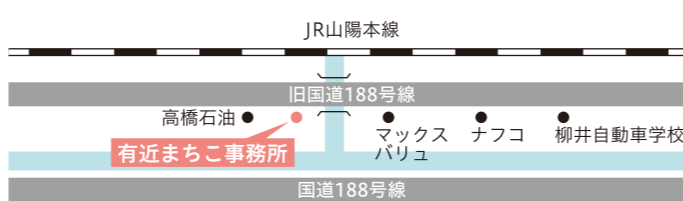
山口県には、県民の伴走者になるだけではなく、世の中の変化に対応し先頭立って県民を引っ張っていく「強い山口県」であることが求められていると思います。県議会も、新たな政策立案に向け、力を合わせてより一層の調査・研究をしています。

今こそ、都市部集中が見直され、地方創生、山口県が生まれ変わるチャンスだと思います。力を合わせて乗り越えましょう！より良い山口県、そして柳井市へ向かって。



有近まちご事務所

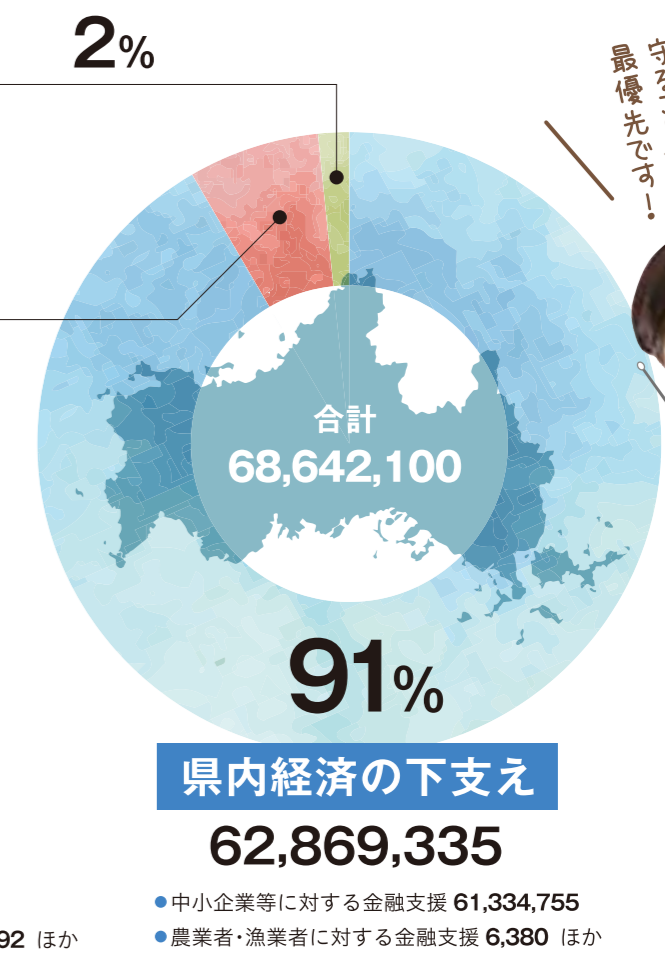
〒742-0011 山口県柳井市新市沖5-20 Tel/0820-25-3910 Fax/0820-25-3950 E-mail/arichikamachiko@gmail.com



令和2年度

4月コロナ予算の概要

健康と経済を守る事が最優先です！



※単位は千円

- 県民生活の安定 1,103,784**
- 家庭学習に必要なタブレット端末やモバイルルーターの貸与等の教育ICT推進 147,966
 - 補修等を支援する学習指導員の追加配置 60,815
 - 長期休業明けの児童生徒に対するスクールカウンセラー等専門家の派遣 7,804 ほか

7%
感染拡大の防止
4,668,981

- 産産期医療体制の強化に必要な設備整備への補助 396,000
- 県庁におけるテレワークの本格導入に向けた接続環境構築 255,760
- 外国人の医療機関受診に対する支援 14,000
- PCR装置等検査機器の整備等、検査体制の強化 128,742
- 入院患者の病床の確保および医療機関における設備整備 2,281,339
- 軽症者等が療養するための宿泊施設の借上げ 384,992 ほか

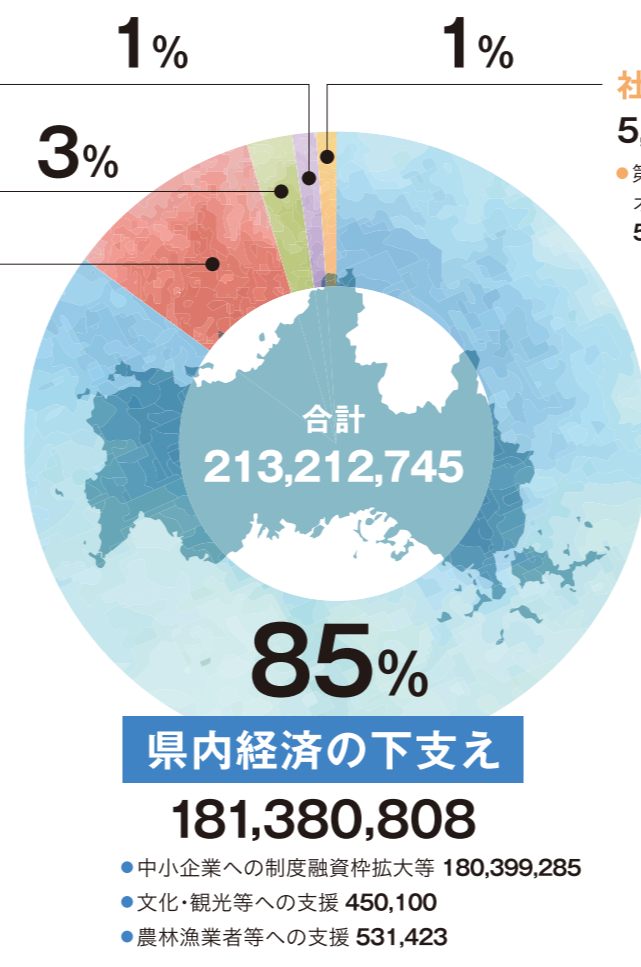
令和2年度

6月コロナ予算の概要

社会変革の推進 5,050,657

- 第2波に備え、学校におけるオンライン授業環境の整備 5,022,732 ほか

長期化への備えと前向きな未来のため！



※単位は千円

消費需要の喚起 2,616,024

- 観光 1,929,824
- 県産品 686,200

県民生活の安定 2,208,263

10%
感染拡大の防止
21,956,993

- 感染拡大防止対策(感染リスクの中で業務に従事した人への慰労金支給等) 13,175,750
- PCR検査機器追加等、検査体制や医療提供体制の強化事業 8,717,228 ほか

※補正予算に関する注意事項/4月と6月いずれの補正予算も巨額ですが、山口県は決して財政的に豊かなわけではなく、厳しい中でも目の前のコロナ禍を乗り切らなければいけないので、一生懸命苦勞して予算編成しているものです。また、補正予算の大半は中小企業制度融資です。山口県の制度融資は、資金の一部を県が確保して金融機関に預託する方式をとるため、金融機関への利子補給方式の他県に比べて予算規模が膨らんでいます。

〈4月臨時会〉

緊急経済対策を要望しました！

4月の臨時会では、総額686億円の補正予算が成立しました。厳しい財源の中で捻り出された集中投資です。感染拡大の防止、県民生活の安定、県内経済の下支え、この3つが柱となっています。深刻な影響が出ている中小企業に対する金融支援が主ですが、医療・生活経済を守るという観点から、幅広い内容となっています。

〈6月定例会〉

地元の悲痛な声を届けました！

様々な業種の方から、「いつまでも自粛ではつづれてしまう」との声を聞きます。特に、飲食店は、「感染予防のための様々な工夫、できる限りの努力をしても客足が戻らない」とのことであり、この状況が続けば、身近な生活圏から施設も店も消えてしまい、地域経済も立ち行かなくなる。

人目を気にする自粛ムードや、感染に対する漠然とした不安感などから、飲食店の利用が控えられている。については、例えば、「新しい生活様式での外食や飲み会を知事自らが実践され、会食の様子

有近まちこの一般質問

かかりつけ医を失わないために！

質問(要旨)

新型コロナウイルスの感染拡大による「受診控え」「小児科離れ」が生じている。小児科が身近な地域からなくなれば、地域で安心して子どもを育てることも難しくなる。

子どもの健康を守り、再度の感染拡大に備えるためにも、県として医療機関における感染防止対策や人員の確保、経営面を含めた幅広い支援を行う必要があるのではないか。

答弁(要旨)

医療機関における待合室の混雑を避けるための予約診療の導入促進や、患者の動線の混在を防止するためのパー



写真はイメージ

として利用され、市にとって、地域の雇用創出等に大いに期待する一方で、市のこれまでの「コンパクトなまちづくり」の灯が、ここで消えるのではないかと強い懸念を抱いた。

柳井市の駅を中心とした中心市街地において、空き店舗の発生など空洞化が進行し、その活性化対策は早急に取り組むべき重要な課題。

中心市街地活性化施策を推進するため、既存施設を有効活用し、教育・介護・福祉施設等の再配置を行い、鉄道やバス等の地域交通と連携して、郊外からの住民を呼び込むなど、多様な世代が集う「賑わいのあるまちづくり」を計画的に



6月定例会

- 補正予算の概要はこちらからご覧いただけます！
- 4月 補正予算 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10500/hoseigaigy/202004270001.html>
- 6月 補正予算 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10500/hoseigaigy/202006220001.html>



万全な感染防止対策で、再び！！

を報道陣にも公開し、「感染防止対策を徹底して、みなさんを迎える態勢を整えている店がたくさんあるので、安心して利用して欲しい」と、広く県民に呼びかければ、効果的ではないか。

東京と山口県では感染状況も人の密集度も異なるため、全く同じ生活様式を取ることは合理的ではない。感染対策は絶対に怠らない、その上で、地域の実状に合った、山口県にふさわしい「新しい生活様式」をつくり、県民の理解を得ながら、本来の生活リズムに戻していく取組を、先頭に立って、力強く進めていただきたい。

知事

どのような形で取り組みができるのか考えていきたい。

※答弁の予定外でしたが、前向きに検討する姿勢を示して応じていただきました。

ティションの設置など、院内感染防止に係る設備整備等を支援する。

清拭や消毒など、感染防止に係る業務が大幅に増加することに伴い、追加的に必要となる人員配置のための経費を助成する。

県の制度融資の周知とともに、国に対し、知事会等を通じて、医療機関に対する中長期的な財政支援を求める。

**コロナに負けない！
県産の美しい花を
応援します！**

質問(要旨)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベントの自粛等により、3月以降の花き需要が大きく低下し、花を扱う多くの方々はかつてない苦しい状況に陥っている。

花は、人々の心に潤いを与え、生活の豊かさを生み出す生活必需品であり、日常品として捉えてもらえるような取組が大切である。

県では、5月に旬を迎えている県オリジナルユリなどの県産花きを使ったフラワーアレンジメントを県内保育園や幼稚園に届けられ、子どもたちや保護者からも感激の言葉が寄せられた。こうした取組はぜひ継続していただきたい。

一方、高コスト型の花き生産を維持していくためには、ここ数か月の売上低下は大きな障害となり、影響を受けた生産者を進める必要があると考える。

こうした取組の主体は、市町や市民等であるが、「まちづくり」に関するノウハウや、様々な国の支援策に精通する県の積極的なサポートが必須であると考えられる。今後、どのように支援していくのか。

答弁(要旨)

市町が策定する「立地適正化計画」に対する助言・情報提供や計画の具現化に向けた道路整備等の県事業の推進等により、柳井市をはじめとした県内市町のまちづくりを、ソフト・ハード両面にわたり積極的に支援していく。



県産の花きを使ったフラワーアレンジメント

者に寄り添った対応が必要である。

コロナウイルス感染症の影響を受けた県内の花き生産者が、これからも安心して生産に取り組むことができるよう、県としてどのような支援を展開するのか、また、感染症拡大に伴って低下した県産花きの需要を高めるため、どのような取り組まれるのか。

答弁(要旨)

生産者の経営継続に向けては、売上が大幅に低下した方を対象に、コストが高い花き生産の特性を踏まえ、種苗費など次期に必要な経費を支援するとともに、需要動向に応じた品目変更等に対し、きめ細かな指導・助言を行う。

**柳井駅を中心とした
中心市街地の空洞化が問題です！**

質問(要旨)

柳井市では、柳井駅周辺の工場跡地を活用したまちづくりを進めるため、『コンパクトなまちづくりモデル事業』に取り組んできたが、本年6月、この跡地に、企業が工場進出を決定し、生産活動の拠点



6月定例会

- 補正予算の概要はこちらからご覧いただけます！
- 4月 補正予算 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10500/hoseigaigy/202004270001.html>
- 6月 補正予算 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10500/hoseigaigy/202006220001.html>